

## 参考資料3

令和5年1月17日（火）  
全国健康保険協会滋賀支部  
評議会資料

令和4年10月21日（金）  
全国健康保険協会滋賀支部  
評議会資料

# 滋賀支部の課題・重点施策について

# 1. 滋賀支部の課題について

## ○課題シート

①	<p>◎ <b>診療時間外受診が多い</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・加入者1人当たりの診療時間外受診の算定回数が全国平均より多い。</li><li>・初診より再診の診療時間外受診が多く、緊急ではないケースが含まれると考えられる。</li></ul> <p>【令和3年度 地域差指数-1】初診 0.228（全国 42位）、再診 0.367（全国 42位）</p>
②	<p>◎ <b>健診時の問診結果において、運動・睡眠の指標が全国下位となっている</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「運動習慣要改善者」及び「睡眠で休養が取れていない者」の割合が全国平均より高い。</li><li>・特に湖北地域の運動習慣要改善者の割合が高い。</li></ul> <p>【令和3年度 地域差指数-1】運動 0.041（全国 36位）、睡眠 0.066（全国 42位）</p>
③	<p>◎ <b>業態別の医療費において、「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」の医療費が高い</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1人当たり医療費は、入院・入院外ともに全国平均を下回っているが、業態別で見ると、入院は「機械器具製造業」「公務」、入院外は「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」の業態で勤務する方の1人当たり医療費が高く、3年連続で全業態（42業態）の中のワースト3に入っている。</li></ul> <p>【令和3年度 地域差指数-1】 （入院）機械器具製造業 0.031、公務 0.016 （入院外）機械器具製造業 0.030、その他の製造業 0.012、公務 0.016</p>
④	<p>◎ <b>業態別の健診結果において、「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」のリスク保有率が高い</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健診結果における「血圧」「脂質」「代謝」の3つのリスクは全国平均より低くなっているが、滋賀支部加入事業所の業態別で見ると、「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」の業態で勤務する方のリスクが高く、特に「機械器具製造業」「公務」については、3年連続で全業態（42業態）の中のワースト3に入っている。</li></ul> <p>【令和3年度 地域差指数-1】 （血圧）機械器具製造業 0.031、その他の製造業 0.024、公務 0.047 （脂質）機械器具製造業 0.036、その他の製造業 0.020、公務 0.047 （代謝）機械器具製造業 0.022、その他の製造業 0.017、公務 0.030</p>
⑤	<p>◎ <b>全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者の割合（被保険者カバー率）が全国下位となっている</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度 K P I 46.0%に対し、実績は41.1%（全国 43位）となっている。</li></ul>

（\*）「地域差指数－1」について …… 全国平均と比較した場合の高低を見ることができます。

地域差指数－1とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を「0」として数値化したものであり、0より大きい数値であれば全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば全国平均より低い水準にあることを示しています。

（協会けんぽ本部にて算出）

## 課題

①

### ◎ 診療時間外受診が多い

## これまでの取組と評価

### 【これまでの取組】

- 支部で発行している定期広報誌や健康保険委員向けの広報誌を活用し、時間外受診（特別加算）に関する周知広報を実施。
- 医療費適正化に係る動画を作成。YouTubeチャンネルへアップするとともに、各種広報媒体に当動画へリンクするQRコードを掲載し、周知広報を実施。その他、当動画を活用したWeb広報（Yahooディスプレイ広告、YouTubeインストリーム広告）や、テレビCMでの放送を実施した。
  - ▶ Web広告配信結果（令和3年度実施分）：動画視聴回数 134,389回、広告クリック回数 987回
  - ▶ テレビCM放映（令和3年度実施分）：びわ湖放送 ゴールデンタイムを中心に45回

### 【取り組みに関する評価】

- Web広告配信における動画視聴回数は13万回を超えており、多くの方に対し広く広報が実施できたと考えられる。しかしながら、3年連続で診療時間外受診の算定回数は高止まりしており、加入者へ情報が届いているか等の検証が必要。

## 今後の重点施策

### 【Web広報を軸とした診療時間外受診に係る広報の継続】

- これまでの取組結果より、Web広告の視聴回数は一定数あり、広く広報するツールとしては有効と思われる。今後も既存動画を活用したWeb広報を継続するとともに、他の医療費適正化広報（かかりつけ医、大病院受診の際の特別料金等）も併せて実施するなど、加入者の興味を引き行動変容につながるような広報とする。
- 診療時間外受診が多い要因について、関係各所と連携の上、確認を行っていく。

### 【検証方法】

- Web広告においては、動画の視聴回数等を参考とするとともに、アンケートを実施し、当動画を含めた協会けんぽの広報を目にしたことがあるかなど、加入者に情報が届いているかの検証も行う。
- 今後の診療時間外受診の算定回数の推移を確認し、効果が出ているか検証を行う。

## 課題

②

### ◎ 健診時の問診結果において、運動・睡眠の指標が全国下位となっている

#### これまでの取組と評価

##### 【これまでの取組】

- 健康教室（無料の健康講座）を実施。講座の中には運動や睡眠に関するものもあり、事業所を通じた健康づくり事業に寄与している。
  - ▶ 健康教室開催件数（直近3年分）：令和2年度 60回、令和3年度 67回、令和4年度 77回（9月末）  
※件数には運動・睡眠以外の講座も含む
- ウォーキングイベント（年1回）を開催し、加入者の健康意識の向上を図っている。
  - ▶ 参加人数（令和4年度）：34名

##### 【取り組みに関する評価】

- 過去3年の「運動習慣要改善者」及び「睡眠で休養が取れていない者」の割合は高止まりしており、睡眠に関しては増加傾向にある。事業実施による効果検証や、より運動や睡眠に特化した取り組みを実施していく必要がある。

#### 今後の重点施策

##### 【運動・睡眠に関する情報提供および広報の強化】

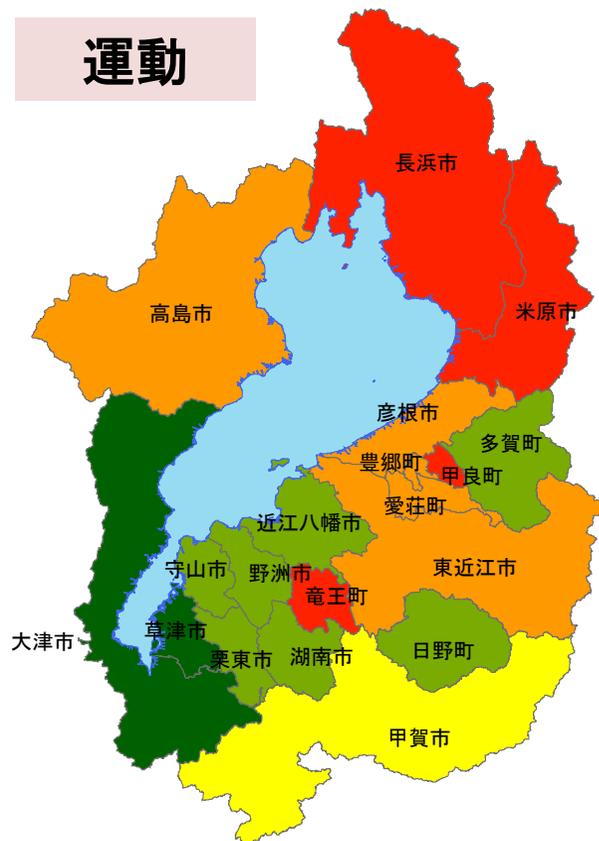
- 支部の定期広報誌等を通じた運動・睡眠に関する情報提供や、健康教室事業の周知広報を強化する。広報の実施に当たっては、健康経営と絡めた運動機会の向上や睡眠に関する取組を紹介する内容とするなど、これらへの取組が従業員の健康や生産性の向上、健康経営優良法人の認定へつながること等を強調し、事業所として取り組むメリットを押し出したものとする。
- 年齢層や業種等に特徴が無いか問診データの分析を行い、ターゲットを絞った広報についても検討する。

##### 【検証方法】

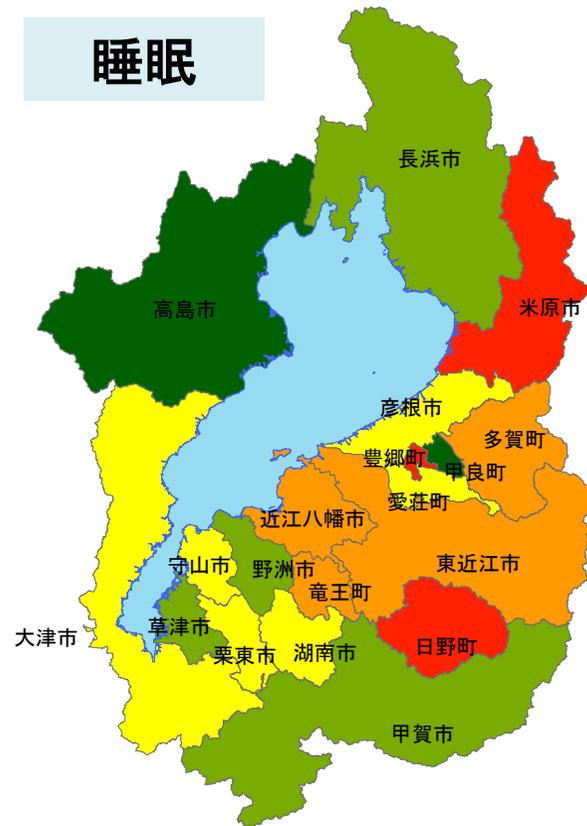
- 問診結果より「運動習慣要改善者」及び「睡眠で休養が取れていない者」の割合の経年推移を確認する。
- 宣言事業の登録数。

# 運動・睡眠に関する地域の特徴

## 運動



## 睡眠



● 滋賀県内の市町ごとに地域差指数をプロットした結果、特に湖北地域の運動習慣要改善者の割合が高い結果となった。

## 課題

③

◎ 業態別の医療費において、  
「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」の医療費が高い

### これまでの取組と評価

#### 【これまでの取組】

- 全国的に運輸業の健診受診率が低いことやリスク保有者も多く、滋賀支部においても同様であることから、トラック協会等運輸関係の業界団体と連携した取り組みは実施しているが、今回、課題として浮かび上がった「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」の業態については、これまで業態に特化したアプローチは行っていなかった。

#### 【取り組みに関する評価】

- トラック協会とは広報等の分野で協力いただいております、会合等でも説明の場を設けていただくなど良好な関係を築いている。これらのスキームを同業態に展開していく必要がある。

### 今後の重点施策

#### 【「機械器具製造業」及び「その他製造業」に対する対策の強化】

- 「機械器具製造業」及び「その他製造業」の内、一定規模かつ協会けんぽの事業に未参加等（参加しているが健診・保健指導実施率等が低い事業所含む）に対し、幹部職員の訪問による協会事業（宣言事業・健診・保健指導等）の勧奨を行う。（事業所カルテを活用）
- 経済団体（商工会・商工会議所・中小企業団体中央会）等と連携した広報活動の実施。
- 医療費が高い要因について、地域・年齢・疾病等の視点からも分析を行い、業態との関連を探る。
- 製造業における健康経営の推進と、モデルケースとなる事業所の創出及び好事例の展開。
- 「公務」業態（国・地方公共団体）の加入者（主に短時間労働者）においては、令和4年10月より協会けんぽから共済組合へ移行することから、「機械器具製造業」「その他の製造業」に絞った対応を行う。

#### 【検証方法】

- 「機械器具製造業」及び「その他製造業」1人当たり医療費の推移を経年で確認し、当業態の医療費の数値や、支部平均との差の推移を確認する。

## 課題

④

◎ 業態別の健診結果において、  
「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」のリスク保有率が高い

### これまでの取組と評価

#### 【これまでの取組】

- 全国的に運輸業の健診受診率が低いことやリスク保有者も多く、滋賀支部においても同様であることから、トラック協会等運輸関係の業界団体と連携した取り組みは実施しているが、今回、課題として浮かび上がった「機械器具製造業」「その他の製造業」「公務」の業態については、これまで業態に特化したアプローチは行っていなかった。

#### 【取り組みに関する評価】

- トラック協会とは広報等の分野で協力いただいております、会合等でも説明の場を設けていただくなど良好な関係を築いている。これらのスキームを同業態に展開していく必要がある。

### 今後の重点施策

#### 【「機械器具製造業」及び「その他製造業」に対する対策の強化】

- 「機械器具製造業」及び「その他製造業」の内、一定規模かつ協会けんぽの事業に未参加等（参加しているが健診・保健指導実施率等が低い事業所含む）に対し、幹部職員の訪問による協会事業（宣言事業・健診・保健指導等）の勧奨を行う。（事業所カルテを活用）
- 経済団体（商工会・商工会議所・中小企業団体中央会）等と連携した広報活動の実施。
- 医療費が高い要因について、地域・年齢・疾病等の視点からも分析を行い、業態との関連を探る。
- 製造業における健康経営の推進と、モデルケースとなる事業所の創出及び好事例の展開。
- 「公務」業態（国・地方公共団体）の加入者（主に短時間労働者）においては、令和4年10月より協会けんぽから共済組合へ移行することから、「機械器具製造業」「その他の製造業」に絞った対応を行う。

#### 【検証方法】

- 「機械器具製造業」及び「その他製造業」の「血圧」「脂質」「代謝」リスクの推移を経年で確認し、支部平均との差の推移を確認する。

## 課題

⑤

◎ 全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者の割合（被保険者カバー率）が全国下位となっている

## これまでの取組と評価

### 【これまでの取組】

- 健康保険委員未登録事業所に対し、勧奨文書を送付。
- 健康アクション宣言登録時に、担当者を健康保険委員に登録。
- 健康測定機器貸出申込時に、担当者を健康保険委員に登録。
- 新規適用事業所に対し、勧奨文書を送付。
- 事業所訪問による登録勧奨。

### 【取り組みに関する評価】

- 登録者数 2,419名（令和4年9月末時点）、被保険者カバー率 41.2%（令和4年6月末時点）
- 勧奨により委員の登録数は増加しているが、小規模事業所の登録がメインであり、カバー率への影響は小さい。  
KPI達成に向けては、約12,000名の被保険者をカバーする必要がある。よって、カバー率向上に当たっては、大規模の未登録事業所へのアプローチが必要となる。

## 今後の重点施策

### 【大規模事業所への幹部職員の訪問によるトップセールスの実施】

- KPIの達成に向けては、大規模事業所の登録が不可欠であることから、従来の文書勧奨と並行して、被保険者100名以上の事業所に対し、幹部職員が訪問の上、登録勧奨を行う。なお、訪問に当たっては、他の協会けんぽの事業（宣言事業、健診、保健指導等）についても併せて案内し、トータルとして協会の事業を活用いただくことで、他の事業への効果波及も狙う。
- 経済団体（商工会・商工会議所・中小企業団体中央会）等と連携の上、登録勧奨を行う。

### 【検証方法】

- ・KPI達成率、健康保険委員登録件数の確認